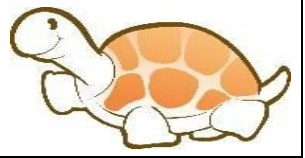




のこのこたより

令和 8年 6月 第134号



社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1

電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

「たったひとつの愛で生き残ることもある」

奈良100年会館満員御礼の小椋佳さんの「コンサートの」報告です。

まずは代表作の「俺たちの旅」。中村雅俊主演の「俺たちの旅」は、その時代の生き方ばかりが生き方じゃないと反省を示し共感を受け、そんな青春時代を思い出すことは大切なこと、と感じながら歌っておられるとのこと。

70歳の時、生前葬コンサートをNHKホールで盛大に行い、思い残すことはないと思われ。ところが、その後も毎年コンサートを開き、1月には82歳、筋力体力もどんどん弱り、歯も先々月1本、先月1本抜け、来週歯科医院の予約をしているらしく「歯なしのまま、はなしをします」と大笑い。

何をしてもしんどくて、朝目覚めると「あー今日も生きなきゃ」と、コンサートも命がけ「途中倒れたらごめんさい」と。

26年半銀行のサラリーマンを経験、ニュージャーシー州への出張では外国のインベスメントバンカーを学び論文を仕上げることに東京のテレビドラマの主題歌を仕上げるのが任務。アメリカらしい生活に憧れ一軒家を借り、家主からは熱帯魚の水槽だけをたで見守ってくれさえすれば良いと言われた。しかし異常事態がおき、水槽にタニシが数千匹発生、お箸で一匹ずつつまみ出し水をかえ大忙しとなった。論文と主題歌とタニシと・・・その時できた主題歌は「めまい」と大笑い。

中学、高校と青春時代は人生の意味とは？真実とは？神とは？どうして生きていくか？それを言葉で考え、言葉を使って真相を確かめようとしたが答えは出せないままつらく過ぎていった。若い頃の歌の終わりは疑問符だったが、今はピリオドになった、しかし、いまだに人生をどうすれば良いか迷うこともある。

大好きなお孫さんは10歳の野球少年、「どこ守ってるの？」と質問と明るく元気に「ベンチ！」と。「いい奴だなあ」と嬉しそう。今の時代は個人個人のそれぞれの考えを大事にし、流されず生きようとしている、これは良かったと感じている。

全15曲。82歳の小椋佳さんの自然な生きざまに心打たれ、純粋に素直に生き抜くことを学んだ。最後は、期待と祈りと感謝を込めて「さようなら」、このひとりで締めくくられた。

目の前の小椋佳さんに心から感謝し、感動の涙と笑いで大満足でした。+

GHのご利用者様は、あじさいサロンに参加され、アジアの珍しい楽器を演奏したり、歌を唄ったりして、地域の皆様と楽しい時間を過ごされました。



新任職員は水消火器を使用して初期消火の重要性を学びました。

午前(特養)と午後(GH)に春の防災訓練として火災発生時及び洪水発生時の避難訓練を行いました。ご利用者様は、スタッフの避難誘導のもと速やかに避難されました。



第18回運営推進会議は、当法人の認知症カフェ「オレンジカフェおいもん」で開催！ケーキと飲み物を召し上がっていただき、ゆたいたしとした中での会議となりました。



本末先生(けんどう倶楽部)健康体操開催！たくさんのご利用者様が参加してください、本日も先生より元気をいただきました。



BCP(災害時業務継続計画)に基づく非常食提供訓練を行いました。ご利用者様には、ガスコンロで沸かしたお湯を使用した非常食のカップラーメンを召し上がっていただきました。



ボランティア「彩絵(さえ)の会」の皆様と一緒にパステル画を楽しみました。



6月の行事予定

- 2日：彩絵会(GH) 14:00
- 8日：あじさいサロン 14:00
- 11日：選べる日の献立(トッピングカレー)
- 16日：けんどう倶楽部(体操) 10:30
- 19日：お誕生日会

いつもご協力、ご支援ありがとうございます。事前予約での面会を行っています。引き続きご家族様のご来園お待ちしております。

3月にNPO 法人NネットさんによるGHの外部評価が行われました。4月の運営推進会議で、最終結果報告をさせていただきました。評価を活かして、良い運営に努めますので、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第109回 歯磨きの歴史⑭

継続は力なり。今日まで続く活動

6月4日の「むし歯予防デー」はいつから始まったのか、ご存じですか？ 今から90年前の1928（昭和3）年、「6（む）4（し）」にちなんで、日本歯科医師会が実施したのが始まりです。日本歯科医師会が誕生したのは1926（大正15）年のこと。各都道府県の歯科医師会が認可され、全国組織の公法人として国の健康保険制度を担うようになって、その社会的使命のもと、口腔保健活動にいっそう力を入れるようになりました。「むし歯予防デー」は、その取り組みの第一弾です。まず、全国の小中学校をはじめ、陸海軍、警察署、刑務所、市役所、健康保険組合などにポスターやパンフレットを無料配布しました。また、各地で歯科検診や講演会、歯の衛生博覧会、ラジオ放送での啓発活動などが行われました。民間企業的小林商店（現ライオン）も、「むし歯予防デー」に協賛し、積極的な活動を展開していきます。「むし歯予防デー」はその後、「護歯日」「健民ムシ歯予防運動」などと呼び名が変わったり、戦争で中断されたりしましたが、1949（昭和24）年に復活。現在は、6月4日から10日までの1週間を「歯と口の健康週間」として、さまざまなキャンペーンが行われています。

☆毎年選ばれる統一標語 どの標語も素敵ですね♪

